

中央大学（以下「本学」という。）は、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神に基づき、その伝統及び私立大学の特性を生かしつつ、教育基本法に則り、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の理論及び応用を教授・研究し、もって個性豊かな人間の育成を期するとともに、文化の創造・発展と、社会・人類の福祉に貢献することを使命とする。この趣旨に基づき、研究成果を積極的かつ効果的に発信・公開し、社会との対話を進めることにより、地域や社会からの負託に応えて研究活動を積極的に実施し、文化の創造・発展と社会・人類の福祉に貢献するという使命を果たすことに努める。

上述の理念を踏まえ、本学は、研究の過程で得られた研究データの管理、公開及び利活用についてのポリシーを以下の通り定める。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学において研究に従事する者（以下「本学研究者」という。）によって本学における研究活動の過程で収集又は生成されたデータを指し、デジタルか否かを問わない。

（研究データの管理等）

2. 研究データの管理、公開及び利活用に供する方法は、それを収集又は生成した研究者が、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、国際的規範、国内外関係諸法令、学内規定その他これに準ずるものの範囲内並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において決定することができる。

（研究者の責務）

3. 本学研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（本学の責務）

4. 本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備する。

（ポリシーの見直し）

5. 社会情勢や研究環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。

以上